

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

## 平成29年 7月の安らぎ通信



南海トラフ「ゆっくり滑り」

想定震源域で確認

- ・海洋研究開発機構と東京大学などは、南海トラフ巨大地震の想定震源域である熊野灘沖で、プレート（岩板）境界が時間をかけて静かにずれる「ゆっくり滑り」と呼ぶ現象が繰り返し発生していることを突き止めました。
- ・南海トラフでは、地下深くへ沈み込む海のプレートに陸のプレートが引きずられてひずみがたまり、繰り返し大地震を起こしてきました。
- ・プレート境界のゆっくり滑りは、人が感じる揺れは伴いません。ひずみの解消につながっているとの見方のほか、プレート境界の別の場所にひずみがたまりやすくなっているとの考えもあります。
- ・8～15か月間隔でゆっくり滑りが複数発生。1回あたり数日から数週間かけて滑っていました。

（2017年6月19日 日本経済新聞記事から抜粋引用）



あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781